



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software

ソフトウェアバージョン:10.30

Windows®およびLinux®オペレーティングシステム

ATMLレポートのオンラインヘルプ

ドキュメントリリース日 :2017年6月

ソフトウェアリリース日 :2017年6月

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise製品とサービスに関する単独の保証は、かかる製品とサービスに付属する保証ステートメントに明示的に定められています。ここに記載された情報は追加の保証をなすものではありません。HPEではここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。

ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

制限付き権利

機密コンピューターソフトウェアこれらを所有、使用、または複製するには、HPEが提供する有効なライセンスが必要です。FAR 12.211および12.212に準拠し、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダーの標準商用ライセンスの下、米国政府にライセンスされています。

著作権

© Copyright 2009-2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標

Adobe™はAdobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国内での登録商標です。

UNIX®はThe Open Groupの登録商標です。

この製品には、「zlib」汎用圧縮ライブラリ (Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler) のインタフェースが含まれています。

マニュアル更新

このドキュメントのタイトルページには、次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日。ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日。ソフトウェアのこのバージョンのリリース日を示します。

最近の更新を確認するか、ドキュメントの最新版を使用していることを確認するには、次のサイトを参照してください:

<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトにはHPパスポートのアカウントが必要です。アカウントを持っていない場合は、HPパスポートサインインページの [**アカウントの作成**] ボタンをクリックします。

サポート

HPEソフトウェアサポートWebサイトには、次のアドレスからアクセスしてください。<https://softwaresupport.hpe.com>

このWebサイトでは、製品、サービス、およびHPEソフトウェアが提供するサポートに関する詳細と連絡先の情報を提供します。

HPEソフトウェアサポートでは、お客様ご自身で情報を検索していただけるセルフソルブ検索を提供しています。すばやく効率的な方法で、お客様のビジネス管理に必要な対話型テクニカルサポートツールにアクセスできます。サポートの大切なお客様として、サポートWebサイトで次の操作が可能です。

- 興味のあるナレッジドキュメントの検索
- サポート事例と改善要求の送信と追跡
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPEサポート契約の検索
- 利用可能なサービスに関する情報のレビュー
- 他のソフトウェアユーザーとの情報交換
- ソフトウェアトレーニングの調査と登録

ほとんどのサポートエリアでは、HPパスポートのユーザーとして登録してサインインする必要があります。また、多くのエリアではサポート契約も必要です。HPパスポートIDを登録するには、<https://softwaresupport.hpe.com> にアクセスして、[登録]をクリックします。

アクセスレベルの詳細については、次のURLにアクセスしてください。

<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

オンラインヘルプのこのPDF版について

このドキュメントは、オンラインヘルプのPDF版です。このPDFファイルの提供によって、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で読むことができます。このコンテンツはWebブラウザで表示されるオンラインヘルプとして作成されているため、一部のトピックが適切な形式になっていない可能性があります。また、一部の対話型トピックはこのPDF版で表示できない可能性があります。それらのトピックはオンラインヘルプから正常に印刷できます。

目次

ATMのレポートについて	7
ATMカレンダーレポート	7
ATMチャート詳細レポート	8
ATMヒートチャートレポート	9
ATM管理対象インベントリレポート	10
ATM最も変化したレポート	11
ATMピーク期間レポート	11
ATM上位Nレポート	12
ATMの上位N頻度分布レポート	14
レポートの実行方法	14
標準設定	16
ATM上位Nテーブルレポート	16
レポートの実行方法	17
ATM上位Nチャートレポート	19
レポートレットについて	19
カレンダー	19
ゲージ	20
ヒートチャート	21
メトリックスナップショット	21
最も変化した	22
マルチメトリックチャート	23
単純な棒グラフと折れ線グラフ	24
単純な棒グラフ	24
単純なグラフ	25
単純なテーブル	26
スパーク線	27
上位Nチャート	27
上位N折れ線グラフ	28
上位N積み上げグラフ	29
上位Nテーブル	30
棒グラフ付き上位Nテーブル	31
用語集	32

ATMのレポートについて

ATMのレポートには、NNMiで収集されたATM PVCヘルスデータのパフォーマンスデータが表示されます。これらのレポートのグラフおよびチャートは、次の情報を特定するのに役立ちます。

- 選択したATM仮想回線経由で渡されたデータ量
- 選択したATM仮想回線の平均使用率、最小使用率、最大使用率
- 選択したATM仮想回線の破棄されたAAL5 CPCS PDUの数
- 選択したATM仮想回線の破棄としてマークされたAAL5 CPCS PDUの数

これらのレポートを使用して、ネットワークのATM PVCヘルス仮想回線のステータスを判断できます。

NNMiからレポートを開く

NNMiコンソールから次の方法でレポートを開くことができます。

- NNMiからiSPIに移動し、ナビゲーションパネルの[レポート]タブからレポートを起動する。
- 特定のノードグループ、ノード、インタフェース、または仮想回線に関心がある場合、NNMiからフィルター済みレポートを直接起動する。それ以外の場合は、NNMからワークスペースビューを開いてiSPIに移動し、NPSホームページから調査を開始します。

NNMからiSPIに移動するには、以下の手順を実行します。

- a. NNMiコンソールにログインします。
- b. ワークスペースを選択します。
- c. ノード、インタフェースまたはインシデントのビューを開きます。
- d. [アクション] > [HPE NNM iSPI Performance] > [レポート - レポートメニュー]を選択します。

ATMカレンダーレポート

カレンダーレポートでは、従来のカレンダースタイルのレイアウトを使用して2つのメトリックスの毎時の統計情報を複数の日付にまたがる1つの拡張されたグラフとして表示します。

機能とデフォルト

レポートのデフォルトは次のとおりです。

- ATM PVC名 = すべて
- 日/時間 = 過去31日
- Y1軸に表示されるメトリック (プライマリメトリック) = ボリューム - バイト数 (合計)
- Y2軸に表示されるメトリック (セカンダリメトリック) = CIR使用率 (平均)

デフォルトのビューには、当月の日付が表示されます。iSPIがNNMiからどのくらいの期間データを収集しているかによって、[現在まで]オプションを使用している場合に、過去70日のデータを見るためのオプションがあります。

時間範囲を24時間未満に設定すると、次のメッセージが表示されます。

このレポートは、24時間より短い時間範囲で機能するように設計されていません。時間の選択を変更してください。

レポートの使用方法

このレポートは、次の目的で使用できます。

- 長期間にわたる段階的なトレンドを観察する
- 孤立したスパイクを観察する
- 異常な状態が正常に戻ったことを確認する
- 比較する

このレポートにより、次の情報を識別できます。

- 曜日パターン
- 時間パターン

たとえば、使用率が火曜日に急騰したり、応答時間の問題が毎日午前11時に発行された場合、レポートはこれらのイベントをハイライト表示します。

ATMチャート詳細レポート

チャート詳細レポートでは、過去の仮想回線ヘルスデータに基づいてネットワークヘルスおよびパフォーマンスのトレンド分析を実行できます。

このレポートでは、各時間単位について、選択したメトリックスの比較分析が表示されます。

たとえば、過去1週間のミリ秒ごとのAAL5 CPCS PDUの破棄の変動によってAAL5 CPCS PDUの送受信量がどのように影響を受けるかを比較する場合、選択したノードグループの週次ATM PVCヘルスレポートを生成できます。

複数のノード、ノードグループ、仮想回線、またはインタフェースタイプを選択して、このレポートを生成することもできます。

このレポートを使用して、次のことができます。

- 複数のノード、ノードグループ、仮想回線、または仮想回線グループに対して、ネットワークヘルスおよびパフォーマンスのトレンドを1つの時間単位に基づいて分析する。各時間単位は、表示粒度と呼ばれます。各表示粒度の尺度は次のとおりです。
 - 毎時レポートでの5分間
 - 日次レポートでの1時間
 - 週次レポートでの1日
 - 月次レポートでの1日
- ネットワークのヘルスとパフォーマンスにおける変動の原因となっている仮想回線を識別する。
- 仮想回線のヘルスとパフォーマンスに関する継続的な問題を検出する。
- 過去の仮想回線ヘルスデータに基づいて、複数のノード、ノードグループ、仮想回線、または仮想回線グループのネットワークヘルスおよびパフォーマンスを比較する。

時間コントロールペインでは次のフィルターが利用できます。

- 開始日/時間
- 時間範囲
- 表示粒度

- 時間
- 曜日

機能とデフォルト

このレポートのグラフでは、選択した期間に対して軸ごとに最大6つのメトリックを追跡します。デフォルトメトリックは次のとおりです。

- ATM PVC名 = すべて
- Y1軸に表示されるメトリック= ボリューム- バイト数 (合計)
- Y2軸に表示されるメトリック= CIR使用率 (平均)

チャート詳細レポートには、選択したメトリックが2つのY軸を使用して表示されます。

- 左側のY軸 (Y1軸とも呼ばれます) には、レポート生成に使用した主要メトリックのパフォーマンスが表示されます。
- 右側のY軸 (Y2軸とも呼ばれます) には、主要 (プライマリ) メトリックに重ね合わせるメトリックのパフォーマンスが表示されます。

チャート詳細レポートでは、データを表形式で表示することもできます。テーブルを表示するには、[オプション] をクリックして [テーブル] を選択します。チャートの代わりにテーブルが表示されます。チャートとテーブルの両方を表示するには、[オプション] をクリックした後、[チャートおよびテーブル] を選択します。

ATMヒートチャートレポート

ヒートチャートレポートは、1つのメトリックの毎時のパフォーマンスを追跡します。デフォルトのメトリックは、ボリューム- バイト数 (合計) です。デフォルトの期間は過去31日間です。パフォーマンスが満足か不満足であったかを簡単に表示されるようにパフォーマンスはカラーコードされています。

機能とデフォルト

レポートの上部にある凡例は、正規化されたパフォーマンス値の範囲と特定の色の対応を示しています。

凡例の下にある表は、パフォーマンスメトリックの正規化された値を示します (表の行は時間、列は日を表します)。

表の各セルはカラーコードされており、メトリックの特定の値を示しています。セル上でマウスをポイントすることにより、各時間の絶対メトリック値を表示できます。

レポートのデフォルトのトポロジフィルターは、次のとおりです。

- ATM PVC名 = すべて
- 期間 = 過去31日
- 時間 = すべて
- 曜日 = すべて
- メトリック = ボリューム- バイト数 (合計)

時間範囲のオプションは、24時間以内の任意の期間です。

レポートの使用方法

ヒートチャートレポートを使用して、パフォーマンスの特定の範囲から別の範囲までの段階的なシフトを識別したり、過去24時間の結果に影響を与えた低いパフォーマンスの孤立インスタンスを特定したり、週の曜日パターンを特定したり、異常な状態が問題の修正後で正常に戻ったかどうかを確認したりします。

ATM管理対象インベントリレポート

管理対象インベントリレポートを使用すると、選択した時間範囲内で収集されたデータに表示する各トポロジ属性のインスタンス数を確認できます。たとえば、「過去1時間」範囲でこのレポートを実行すると、過去1時間で収集されたデータに表示する各属性の一意な値の数を確認できます。このレポートは、指定された時間範囲内でポーリングされたノードの数をチェックするときに便利です。

使用可能な属性を使用してデータを絞り込んで、関心のある要素のみを対象としてレポートを作成できます。このレポートには、属性のリストが表形式で表示されます。表のカウント列は、各属性のエントリー数を示します。たとえば、トポロジ項目ノード場所の数が5であれば、ネットワークのすべてのノードを、それらのノードがホストされている場所に基づいて、5つのグループに分割できます。

仮想回線ヘルスレポートでは、次のトポロジ属性を使用できます。

- 修飾ATM PVC名
- ATM PVC名
- ATM PVC ID
- 修飾インタフェース名
- インタフェース名
- インタフェースエイリアス
- インタフェース物理アドレス
- インタフェース注釈
- ATM PVC UUID
- ノード名
- ノード連絡先
- ノード場所
- ノードファミリ
- ノードベンダー
- ノードID
- ノードUUID
- ノード注釈
- インタフェースODDBID
- ノードODDBID
- テナント名
- テナントUUID
- セキュリティグループ名
- セキュリティグループUUID

時間範囲として24時間より長い時間を指定すると、管理対象インベントリレポートの作成にかなり時間がかかることがあります。

ATM最も変化したレポート

最も変化したレポートでは、2つの異なる(連続した)期間のコンポーネントを比較し、変化の大きさによってランク付けします。ソート順序は「最も変化した」から「最も変化しなかった」です。

機能とデフォルト

このレポートには1つのテーブルが含まれ、1つのメトリックのみのデータが表示されます。

テーブルの列は次のとおりです。

- グループ化のレベル(1~5つの列で、それぞれにレベルが表示される)
- 前の期間のパフォーマンス
- 現在の期間のパフォーマンス
- 成長率(パーセンテージの増加で表示)
- 変化

最も変化したレポートに対するデフォルトのフィルターは、次のとおりです。

- 要素ごとのグループ化 = 修飾ATM PVC名
- 開始日付/時間 = デフォルトの時間範囲およびデータベースで使用可能なデータにより異なります。
- 時間 (HOD) = すべて
- 曜日 (DOW) = すべて
- ランク付けメトリック = ボリューム - バイト数 (合計)
- 上位Nのオプション = 上位10

レポートの使用方法

このレポートを使用して、以前に選択した期間から現在選択している期間までに大幅に成長しているオブジェクトを、グループ化レベルで特定します。大幅な成長率は、問題に発展する可能性を示唆している場合もあります。ランキングメトリックおよびリストする要素の数は変更できます。

ATMピーク期間レポート

ピーク期間レポートは、選択した時間範囲で最も負荷の高い時間におけるインタフェースの使用率とパフォーマンスをランク付けします。

このレポートを使用して、次のことができます。

- 選択したメトリックのピーク期間中のパフォーマンスと使用率を識別する。
- ピーク期間中にパフォーマンスまたは使用率のレベルが最も高かったインタフェースまたは最も低かったインタフェースを識別する。
- このレポートを使用して、複数のインタフェースのピーク期間中のパフォーマンスを比較する。

このレポートは、次の目的で使用できます。

- 共通のネットワークパフォーマンス問題が発生している仮想回線のグループを識別する。
- パフォーマンス問題が継続的に発生している仮想回線を識別する。
- 仮想回線使用率が最も高い期間を識別する。

レポートオプション

- 上位/下位N¹
- メトリックの選択²
- グループ化 (期間別)³

このレポートは、選択した期間中の最大6つのメトリックを追跡したものです。

別のメトリックを追加するには、[オプション] をクリックした後、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

すでに追加したメトリックを削除するには、[オプション] をクリックした後、 [グループ化を削除] ボタンをクリックします。

メトリックの範囲値を選択するには、 をクリックしてから  をクリックします。

レポートで考慮するメトリック値の範囲を入力します。範囲が次のいずれかであることを確認してください。

- 10進数の乗数 (100%を指定するには1、50%を指定するには0.5など)
- % (パーセント) 記号を使用した範囲 (100%、50%など)

たとえば、平均使用率が10~90%の間にあるノード 10.2.103.112 の上位5つの仮想回線を表示するには、範囲を次のように入力します。

- 下限値として0.1または10%
- 上限値として0.9または90%

ヒント:

- このレポートを1日に1度チェックして、特別な注意を要する仮想回線を確認します。
- このレポートを1日を通して定期的にチェックし、どの仮想回線が極端な状態で実行されていて特別な注意を要するかを確認します。

ATM上位Nレポート

上位Nレポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素をランク付けします。このレポートを使用して、極端な状態で実行された要素を見分け、使用率のレベルが異常な要素の履歴データを分析します。

このレポートを使用して、次のことができます。

- ヘルスまたはパフォーマンスに問題があるATM仮想回線を検出します。
- NNMi管理対象ATM仮想回線の使用率を特定の時間範囲に基づいて分析します。
- ネットワークで過剰使用または過小使用されているATM仮想回線を検出します。
- このレポートを使用して、単一ノードまたは複数ノードに対する複数のATM仮想回線のパフォーマンスを比較します。

例

¹ 選択したコンポーネントに対して、上位または下位の5件、10件、25件、50件、100件、すべてを降順、すべてを昇順の中から、ランク付けを1つ選択します。

² レポート生成の対象とするメトリックを選択します。

³ 特定の時間粒度に基づいてレポートデータをグループ化できます。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

ネットワーク内の1つのルーターのパフォーマンスが低いとします。このレポートを使用して、最も高いエラー率の平均を報告しているルーターのATM仮想回線をグループ化できます。その仮想回線が1位にランクされます。

レポートオプション

レポートには次のオプションが表示されます。

- 上位/下位N
- メトリックの選択: レポートでは、[メトリックの選択] フィールドにリストされている最初のメトリックの値に基づいて、選択した仮想回線をランク付けします。
- 時系列チャートの表示
- グループ化

このレポートでは、選択した期間に対してメトリックタイプごとに最大6つのメトリックを追跡します。

別のメトリックを追加するには、[オプション] をクリックした後、 [新しいグループ化を追加] ボタンをクリックします。

すでに追加したメトリックを削除するには、[オプション] をクリックした後、 [グループ化を削除] ボタンをクリックします。

メトリックの範囲値を選択するには、 をクリックしてから  をクリックします。

レポートで考慮するメトリック値の範囲を選択します。範囲が次の形式のいずれかであることを確認してください。

- 10進数の乗数 (100%を指定するには1、50%を指定するには0.5など)
- % (パーセント) 記号を使用した範囲 (100%、50%など)

たとえば、平均使用率が10~90%の間にあるノード 192.168.255.200の上位5つのインタフェースを表示するには、範囲を以下のように入力します。

- 下限値として0.1または10%
- 上限値として0.9または90%

時系列チャートレポートには、選択したメトリックスが2つのY軸を使用して表示されます。

- 左側のY軸 (Y1軸) は、レポート生成に使用する主メトリックのパフォーマンスを表します。
- 右側のY軸 (Y2軸) は、主 (プライマリ) メトリックに重ね合わせるメトリックのパフォーマンスを表します。

デフォルトでは、時系列チャートに上位Nレポートは表示されません。詳細なテーブルを含むチャートを表示するには、次を実行します。

- [オプション] > [時系列チャートの表示] > [選択を確認] を選択します。
- 詳細なテーブルの下で [チャートの表示] リンクをクリックします。

ヒント:

このレポートを1日に1度チェックして、特別な注意を要するネットワークインタフェースを確認します。

このレポートを1日を通して定期的にチェックし、どのネットワークインタフェースが極端な状態で実行されていて特別な注意を要するかを確認します。

ATMの上位N頻度分布レポート

上位N頻度分布レポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素がランク付けされ、選択した時間範囲における各収集サンプルのメトリック値の分布が示されます。

このレポートは、上位Nレポートの代わりに使用することができます。上位Nレポートで利用可能なすべての詳細を提供することに加えて、このレポートでは各 **バケット**¹ でメトリック値が費やした時間量を確認できます。

上位N頻度分布レポートでは、メトリック値の異なる範囲を示すのに **バケット** を使用します。

バケットについて

バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (Bkt 0) からバケット11 (Bkt 11) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

レポートを起動する前に、各バケットに提供されたテキストボックスに上限を入力して範囲を定義する必要があります。最初のバケット (Bkt 1) は、指定した上限未満のすべての値を表します。

均一に分布されたバケットを作成する場合は、Bkt 11の上限とBkt 0の上限を指定して、**[値を展開]** をクリックします。

ヒント: 値の範囲は、個別のメトリックに対してではなく、メトリックシリーズに対して定義可能であるため、メトリックシリーズ内の関連するメトリックのみを選択する必要があります。パーセントメトリックに対して同じシリーズとバケットの範囲を使用することは可能ですが、カウンターメトリック (ボリュームなど) とパーセントメトリックをともに同じシリーズ上に置くことはできません。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、**[レポート]** ワークスペースを展開して、**[iSPIメトリック]** > **[インタフェースヘルス]** > **[インタフェースメトリック]** > **[上位N頻度分布]** をクリックします。**[時間]**、**[トポロジ]**、および **[オプション]** メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、**[時間]** をクリックします。ナビゲーションパネルの **[時間コントロール]** ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の **[トポロジ]** をクリックします。または、ナビゲーションパネルの **[トポロジフィルター]** をクリックして **[トポロジセレクターを起動]** をクリックします。

オプション

¹バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (Bkt 0) からバケット11 (Bkt 11) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位/下位N:

[上位/下位N]リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

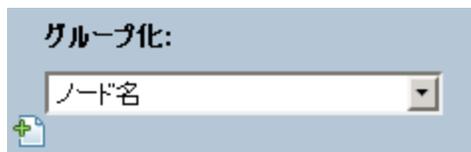
レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title '上位/下位「N」' (Top/Bottom 'N'). Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text '上位10' (Top 10) is displayed in the menu.

[上位/下位N]リストで、任意の値を選択します。

[グループ化]オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



The image shows a light blue rectangular box with the title 'グループ化:' (Grouping:). Below the title is a white dropdown menu with a downward-pointing arrow on the right. The text 'ノード名' (Node Name) is displayed in the menu. To the left of the dropdown is a small green plus icon.

[グループ化]のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加]をクリックします。新しい[グループ化]ボックスに属性のリストが表示されます。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除]をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

各軸の[開始]と[終了]ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始]と[終了]ボックスに値を入力したら、[Enter]を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[削除]をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動]または[下に移動]をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

標準設定

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング)1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- 上位/下位N:上位10
- グループ化:修飾Atm Pvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数(合計)
 - Y2:使用率(平均)

ATM上位Nテーブルレポート

このレポートでは、選択したメトリックによってネットワーク要素をランク付けします。上位Nレポートと異なり、このレポートは棒グラフや時系列グラフをまったく表示せず、「その他¹」グループも表示しません。大規模な環境においては、NPSは上位Nレポートよりも速く上位Nテーブルレポートを生成できます。上位N要素をできるだけ早く確認するには、上位Nレポートではなく上位Nテーブルレポートを使用してください。

このレポートを使用して、極端な状態で実行された要素を見分け、使用率のレベルが異常な要素の履歴データを分析します。次を実行できます。

- ヘルスまたはパフォーマンスに問題があるATM仮想回線を検出する。
- 特定の時間範囲におけるNNMiの管理対象ネットワークATM仮想回線の使用率を分析する。

¹上位Nレポートで、レポートによってランク付けされていない要素はまとめてグループ化され、「その他」行で表示されます。

- ネットワークで過剰使用または過小使用されているATM仮想回線を検出する。
- 複数のネットワークATM仮想回線のパフォーマンスを比較する。

レポートの実行方法

NPSコンソールのナビゲーションペインで、[レポート] ワークスペースを展開して、[iSPIメトリック] > [AtmPvcヘルス] > [AtmPvcメトリック] > [上位Nテーブル]をクリックします。[時間]、[トポロジ]、および[オプション]メニューを利用して、レポートのデフォルト設定を変更できます。

時間

時間設定を変更するには、[時間]をクリックします。ナビゲーションパネルの[時間コントロール]ワークスペースが開きます。

トポロジ

トポロジ属性でレポートをフィルタリングするには、レポート上の[トポロジ]をクリックします。または、ナビゲーションパネルの[トポロジフィルター]をクリックして[トポロジセレクターを起動]をクリックします。

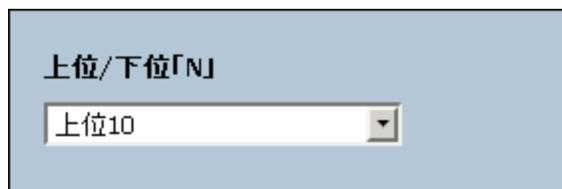
オプション

レポートのオプションを変更するには、まずレポートで[オプション]メニューをクリックして[レポートオプション]ペインを開きます。

上位/下位N:

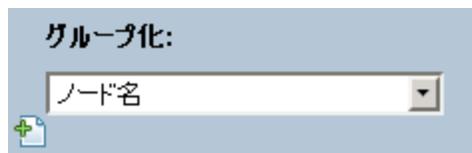
[上位/下位N]リストでは、このレポート上で確認するランクの数を指定できます。

レポート上のデータ点を選択するには、以下の手順を実行します。



[上位/下位N]リストで、任意の値を選択します。

[グループ化]オプションを変更するには、以下の手順を実行します。



[グループ化]のリストで、レポートの表形式データに対するグループ化メカニズムを定義する属性を選択します。

複数の属性を選択するには、 [新しいグループ化を追加]をクリックします。新しい[グループ化]ボックスに属性のリストが表示されます。

グループ化属性を削除するには、 [グループ化を削除]をクリックします。

メトリック:

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。各軸で選択できるメトリックは6つまでです。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

各軸の[開始]と[終了]ボックスで値の範囲を指定することによって、レポートの行数を制限できます。[開始]と[終了]ボックスに値を入力したら、[Enter]を押します。パーセンテージタイプのメトリックの場合、小数で値を指定します。たとえば、9%を指定するには、0.09と入力します。

軸からメトリックを削除するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[削除]をクリックします。メトリックが軸から消えます。

メトリックの順序を変更するには、以下の手順を実行します。

軸上のメトリックを右クリックして、[上に移動]または[下に移動]をクリックします。メトリックが軸上での位置を変更し、その後レポートの起動時にレポートでの位置を変更します。

注: Y1またはY2軸上のメトリックを右クリックしても、軸上に他のメトリックが存在しない場合、コンテキストメニューは発生しません。

時間

- 相対開始:はい
- 間隔:(最後のローリング)1時間
- 粒度:5分

トポロジ

- トポロジグループのトラッキング方法:SCDタイプ1
- 属性選択のフィルタリング:なし

オプション

- 上位/下位N:上位10
- グループ化:修飾Atm Pvc名
- メトリック:
 - Y1:ボリューム-バイト数(合計)
 - Y2:使用率(平均)

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

ヒント: このレポートを1日に1度チェックして、特別な注意を要するATM仮想回線を確認します。

このレポートを1日を通してチェックし、どのATM仮想回線が極端な状態で実行されていて特別な注意を要するか確認します。

ATM上位Nチャートレポート

上位Nチャートレポートは、選択したメトリックでATM仮想回線をランク付けします。

このレポートを使用して、次のことができます。

- 極端な状態で実行されている仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の履歴データを分析する。
- ヘルスまたはパフォーマンスに問題がある仮想回線を検出する。
- NNMi管理対象ATM仮想回線の使用率を特定の時間範囲に基づいて分析します。
- ネットワークで過剰使用または過小使用されているATM仮想回線を検出します。
- 仮想回線に関する継続的な問題の根本的な理由を検出する。このレポートを使用して、複数の仮想回線のパフォーマンスを比較できます。

レポートレットについて

大規模な企業ネットワークでは、NNM iSPI Performance製品 (HPE NNM iSPI Performance for Metrics、HPE NNM iSPI Performance for Quality Assurance、およびHPE NNM iSPI Performance for Traffic) によって大量のデータが作成され、カーディナリティが大きくなる場合があります。企業ネットワークの多くに、大量の一意のIPアドレス、送信元ノードと送信先ノード、仮想回線、インタフェース、およびコンポーネントがあり、それぞれが大量のデータを生成します。そのため、レポートの生成には時間がかかる場合があります。

レポートレットを使用すると、NNM iSPI Performanceダッシュボードを使用して大規模なレポートの簡易版を生成できます。

レポートレットを表示するには、以下の手順を実行します。

1. NPSホームページにログインします。
2. 左側のナビゲーションパネルで [レポートレット] を [iSPIメトリック] > [AtmPvcヘルス] > [AtmPvcメトリック] から展開します。
3. 任意のレポートレットをダブルクリックします。

レポートレットを使用してカスタムダッシュボードを作成することもできます。

カレンダー

選択した**プライマリメトリック**¹と**セカンダリメトリック**²の比較調査が表示されます。

¹レポートを生成する対象の主要メトリックを選択できます。選択したプライマリメトリックは、レポートの左側のY軸上に表示されます。

²プライマリメトリックに重ね合わせるメトリックを選択できます。選択したセカンダリメトリックは、レポートの右側のY軸上に表示されます。

デフォルトの表示粒度は1時間に設定されています。このレポートレットの表示粒度は変更できません。

次の項目を監視できます。

- 選択したATM PVCヘルス仮想回線のCIRまたはEIR使用率(日次)
- 過去24時間に仮想回線経由で渡されたデータ量
- 過去24時間の仮想回線のパフォーマンス

このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

ゲージ

選択した時点のメトリックを評価します。

パーセント値を表示するメトリックのみを選択してください。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックの毎日のパフォーマンスを測定する。
- 異常または予期しないパフォーマンスレベルが発生した場合に検出する。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

NPSデータベースにデータが格納されていない場合は、ゲージに針アイコンが表示されません。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

ドロップダウンリストから任意のメトリックを選択できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

ヒートチャート

選択したメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンスを等級付けします。

メトリックのパフォーマンスは、毎時の表示粒度に基づいて集約されます。

次の作業を実行できます。

- メトリックの変動によって選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスがどのように影響を受けるかを表示する。
- 選択したメトリックの毎時のパフォーマンスを比較する。
- メトリック値の変動によって選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスが悪影響を受けた時間範囲を検出する。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

メトリックスナップショット

選択した時間範囲のメトリックパフォーマンスを表示します。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックのパフォーマンス履歴を作成し、メトリックのパフォーマンスが時間の経過とともにどのように変化したかを分析する。履歴は、メトリックのベースライン値を決定するときに役立ちます。
- 指定した時間範囲にわたる複数のメトリックのパフォーマンスを比較する。スナップショットレポートは1つのメトリックに対して生成できますが、さまざまなメトリックのスナップショットレポートを保存し、時間範囲にわたる各メトリックのパフォーマンスを比較できます。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

最も変化した

メトリックパフォーマンスを比較します。2つの比較対象は次のとおりです。

- 選択した時間範囲
- 選択した時間範囲より前の期間

メトリックの使用率を集約し、パフォーマンスを降順でランク付けします。

次の作業を実行できます。

- ATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスの変動を測定する。
- 共通のパフォーマンスまたは使用率の問題が発生している上位NのATM PVCヘルス仮想回線を検出する。

次の機能を使用して、レポートレットのユーザビリティを拡張できます。

- **上位/下位N²**
- **グループ化³**

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²選択したコンポーネントに対して、上位または下位の5件、10件、25件、50件、100件、すべてを降順、すべてを昇順の中から、ランク付けを1つ選択します。

³特定のパラメーターに基づいてレポートデータを整理します。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示] をクリックします。

マルチメトリックチャート

選択したメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンストレンドを分析します。

次の作業を実行できます。

- 表示粒度ごとに選択したメトリックの比較分析を実行する。デフォルトの表示粒度は1時間です。
- 選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスの向上および悪化の理由を分析する。
- ATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスに影響を与える継続的な問題を検出する。

このレポートレットは最大6つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は[Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリック

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

を選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

単純な棒グラフと折れ線グラフ

次の値を使用して、過去24時間のATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンストレンドを表示します。

- 棒グラフ上のプライマリメトリック¹
- 線グラフ上のセカンダリメトリック²

次の作業を実行できます。

- 複数のメトリックのパフォーマンストレンドを比較する。
- プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。

このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ³を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

単純な棒グラフ

2つのメトリックの選択時間範囲におけるパフォーマンスを比較します。

次の作業を実行できます。

¹レポートを生成する対象の主要メトリックを選択できます。選択したプライマリメトリックは、レポートの左側のY軸上に表示されます。

²プライマリメトリックに重ね合わせるメトリックを選択できます。選択したセカンダリメトリックは、レポートの右側のY軸上に表示されます。

³タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

- 複数のメトリックのパフォーマンストレンドを比較する。
 - プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。
- このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

単純なグラフ

選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドを分析します。

次の作業を実行できます。

- 表示粒度ごとに選択したメトリックの比較分析を実行する。デフォルトの表示粒度は1時間です。
 - 選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスの向上および悪化の理由を分析する。
 - 選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスに影響を与える継続的な問題を検出する。
- このレポートレットは2つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

単純なテーブル

選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドを分析します。

デフォルトの表示粒度は1時間です。

次の作業を実行できます。

- メトリックの毎時のパフォーマンスを分析する。
- 選択したATM PVCヘルス仮想回線の異常または予期しないパフォーマンスを検出する。
- プライマリメトリックの値の増減に応じてセカンダリメトリックの値がどのように増減するかを分析する。

このレポートレットは最大6つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると [レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

スパーク線

選択したメトリック値の選択時間範囲における変化のトレンドを評価します。

次の作業を実行できます。

- 選択したメトリックのパフォーマンスの変動を分析する。
- 選択したメトリックの期待される動作を再評価するかどうかを決定する。

このレポートレットは1つのメトリックをサポートします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、レポートについてこのメトリックを選択する場合は[Y1に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

上位Nチャート

指定の時間範囲における選択したATM PVCヘルス仮想回線のパフォーマンスに対する、各メトリックの個々の貢献度をランク付けします。

インターフェースのパフォーマンスは1時間ごとに集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されません。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [グループの追加] をクリックします。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位N折れ線グラフ

選択したメトリックの選択時間範囲における使用率トレンドをランク付けします。

仮想回線のパフォーマンスは1時間ごとに集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [グループの追加] をクリックします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリックを選択する場合は [Y2 に送信] をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには [説明の表示] をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位N積み上げグラフ

選択したメトリックに基づいて、各仮想回線の個々の貢献度をランク付けします。

各インターフェースのパフォーマンスは、デフォルトの表示粒度である1時間で集約されます。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- 共通のネットワークパフォーマンス問題を持つネットワークパスを検出する。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると [レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を [検索] ボックスに入力します。

タグ²を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ] ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1 軸のメトリックを選択する場合は [Y1 に送信] をクリックします。Y2 軸のメトリック

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

²タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

を選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

上位Nテーブル

選択したメトリックに基づいてインタフェースをランク付けします。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [グループの追加] をクリックします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

1. メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

2. コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

棒グラフ付き上位Nテーブル

選択したメトリックに基づいてATM PVCヘルス仮想回線をランク付けし、集約されたメトリック値を表す水平バーを表示します。

次の作業を実行できます。

- パフォーマンスメトリックスが極端な値を示している仮想回線を見分ける。
- 使用率のレベルが異常な仮想回線の集約データを調査する。
- レポート生成の基準とするメトリックを選択する。選択したメトリックは仮想回線のランク付けに使用されます。
- 特定のパラメーターに基づいてレポートデータをグループ化する。サブグループを追加するには、 [グループの追加] をクリックします。

メトリックスを指定してレポートレットを生成するには、 [ツールバーの表示] をクリックした後、 [オプションの設定/解除] をクリックします。

[オプションの設定/解除] をクリックすると[レポートオプション] ペインが表示されます。

[レポートオプション] ペインには拡張パックによって提供されたすべてのメトリックの一覧が、整理された表の形で示されます。ここから、必要なメトリックを選択したりそのメトリックのレポートを作成することができます。

メトリックを選択するには、以下の手順を実行します。

- メトリック選択リストでメトリックを右クリックします。

ヒント: 検索機能を使用して任意のメトリックを見つけることができます。メトリックを検索するには、メトリック名を[検索]ボックスに入力します。

タグ¹を使用して検索を絞り込むことも可能です。タグを使用するには、[タグ]ボックスの内側をクリックして、任意のタグを選択します。

- コンテキストメニューで、Y1軸のメトリックを選択する場合は[Y1に送信]をクリックします。Y2軸のメトリックを選択する場合は[Y2に送信]をクリックします。

ヒント: メトリックの定義を確認するには[説明の表示]をクリックします。

このレポートレットで使用できるメトリックは1つのみです。

¹タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

用語集

A

ACK

肯定応答:送信されたメッセージが破損することなく、エラーも発生せずに受信されたこと、および受信ステーションが転送内容を受け入れられる状態になっていることを示すために使用される転送制御文字です。受信ステーションはこのコードを送り主に送信して、転送内容を受け入れたことを示します。

B

BECN

逆方向明示的輻輳通知 (BECN):BECN ビットは、フレームリレーのフレームヘッダーのアドレスフィールドの一部です。DCEデバイスは、FECNビットセットでフレームの反対方向に送られるフレームについて、BECNビットの値を1に設定します。これにより、受信DTEデバイスに、ネットワークを通る特定のパスが輻輳状態であるという通知が行われます。DTEデバイスはこの情報をより高い層の処理を行うためのプロトコルにリレーします。実装によって、より高い層のプロトコルはフロー制御を開始したり表示を無視することが可能です。

F

FCS

フレームチェックシーケンス:各PPPパケットには、チェックサムが添付していて、受信しているデータが送信されているデータであることを確認します。着信パケットのFCSが正しくない場合、そのパケットはドロップされ、FCSエラー数が加算されます。

FECN

順方向明示的輻輳通知 (FECN):FECNビットは、フレームリレーのフレームヘッダーのアドレ

スフィールドの一部です。FECNのメカニズムは、DTEデバイスがフレームリレーのフレームをネットワークに送信するときに起動します。ネットワークが輻輳状態の場合、DCEデバイス(スイッチ)はフレームのFECNビットの値を1に設定します。フレームが送信先DTEデバイスに到達すると、(FECNビットが設定された)アドレスフィールドで、送信元から送信先にいたるパス内でフレームが輻輳状態にあることを示します。DTEデバイスはこの情報をより高い層の処理を行うためのプロトコルにリレーします。実装によって、より高い層のプロトコルはフロー制御を起動または表示を無視することが可能になります。

I

ifAdminStatus

NNMiでの管理状態:現在のMIB II ifAdminStatusの値(デバイスの管理者によって設定された値)またはState Pollerサービスによって計算された値を表します。現在の管理状態は、このインタフェースでのステータス計算に影響を与えます。

ifOperStatus

NNMiでの運用状態:現在のMIB II ifOperStatusの値またはState Pollerサービスによって計算された値を表します。現在の運用状態は、このインタフェースでのステータス計算に影響を与えます。

R

RTS

送信要求:ワイヤレスネットワークへのアクセスを求めているデバイスから送信されたメッセージです。

S

sysUpTime

NNMiはシステムの再起動を検出するのにsysUptimeを使用します。システムの再起動

が検出されると、NNMiはsysUpTimeの値を常にゼロにリセットします。

グ

グループ化

特定のパラメーターに基づいてレポートデータを整理します。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

グループ化 (期間別)

特定の時間粒度に基づいてレポートデータをグループ化できます。新規グループを追加するには [新しいグループ化を追加] アイコンをクリックします。

し

しきい値の例外

しきい値の例外率メトリックは、オブジェクトにしきい値例外が発生した時間のパーセンテージを示します。

セ

セカンダリメトリック

プライマリメトリックに重ね合わせるメトリックを選択できます。選択したセカンダリメトリックは、レポートの右側のY軸上に表示されます。

そ

その他

上位Nレポートで、レポートによってランク付けされていない要素はまとめてグループ化され、「その他」行で表示されます。

タ

タグ

タグは集計タイプまたはドメイン固有のグループを表すキーワードです。

ト

トポロジ属性

トポロジ属性は、ネットワーク要素の属性で、要素のタイプ、場所、またはその他の識別のための特徴に関する情報を提供するものです。特定のトポロジ属性 (デバイスの場所、サイト、デバイスのUUIDなど) でNPSレポートをフィルタリングして、関心のある要素に絞り込んで分析を行うことができます。

バ

バケット

バケットは値の範囲を表します。上位N頻度分布レポートでは、1つのメトリックシリーズに対して、バケット0 (Bkt 0) からバケット11 (Bkt 11) まで12の異なるバケット (または値の範囲) を定義することができます。各バケットは、(設定済みで変更不能の) カラーコードと関連付けられています。生成されたレポートは異なる値の範囲の分布を、バケットに関連付けられているカラーコードで表します。

バックプレーン使用率

バックプレーンは、情報をポートに渡すスイッチの内部通信チャンネルです。バックプレーン使用率は、スイッチポート間を移動するトラフィックによって使用されている、チャンネルの利用可能な帯域幅の量です。バックプレーン使用率によって、ポートセグメントのトラフィック量がどの点に達するとパフォーマンスの低下を生じるのかを判別しやすくなります。

プ

プライマリメトリック

レポートを生成する対象の主要メトリックを選択できます。選択したプライマリメトリックは、レポートの左側のY軸上に表示されます。

ベ

ベースラインの例外

ベースラインの例外率メトリックは、オブジェクトにベースライン例外が発生した時間のパーセンテージを示します。

メ

メトリックの選択

レポート生成の対象とするメトリックを選択します。

時

時系列チャートの表示

表と一緒に詳細チャートを表示するには [はい] を選択します。チャートを非表示にして表のみを表示するには [いいえ] を選択します。作成した上位Nレポートには、選択した時間範囲におけるコンポーネントのメトリック値がグラフ表示されます。

上

上位/下位N

選択したコンポーネントに対して、上位または下位の5件、10件、25件、50件、100件、すべてを降順、すべてを昇順の中から、ランク付けを1つ選択します。

全

全体例外率

全体例外率は、選択した時間範囲内で、オブジェクトにしきい値例外、ベースライン例外、あるいはこれら両方が発生した時間のパーセンテージを示します。

